

# 日本史 A

(解答番号  ~ )

**第1問** 次の文章A・Bは、ある市役所で働く文子さんと則夫さんとの会話である。この文章を読み、下の問い(問1～6)に答えよ。(史料は、一部省略したり、書き改めたりしたところもある。)(配点 20)

A

文子：この間、近所のコンビニに買い物に行ったら、バングラデシュから来た人が働いていたよ。最近本当に外国人の労働者が増えたよね。

則夫：そうだね。2015年に移住して来た外国人の数でみると、日本は先進国で4番目に多いんだよ。それをもって日本は事実上の「①移民大国」だっていう人もいるみたいだね。

文子：へえ。それも納得だね。

則夫：近年、永住者も大幅に増えているんだよ。一定の要件を満たして在留許可を受けている永住者は、2000年には15万人に満たなかったけど、2015年には70万人を超えたんだ。

文子：日本の植民地支配に起源をもつ、特別永住の資格を保持した外国人と合わせると、かなりの数になりそうだね。

則夫：そういえば、日本国内で外国人が自由に活動できるようになったのは、

②条約改正によって領事裁判権の撤廃が実現してからなんだってね。

文子：そう。領事裁判権が撤廃されるとともに居留地制度も廃止され、国内のどこでも外国人の居住や営業が認められたんだよね。これを内地雑居というんだけど、その可否をめぐっては、条約改正交渉が始まった当初から、さかんに議論されたんだよ。③内地雑居をめぐる論争は、日本の市場を外国に開放するか国内の産業を保護するかという論点や、日本が欧米の文明をどこまで受け入れるかといった論点にまでおよんだんだね。

問 1 下線部②に関連して、日本人の移民に関して述べた次の文X・Yについて、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

1

X 1920年代なかばに、アメリカ国内への日本人の移民が全面的に禁止された。

Y 日露戦争の終結直後に、満州移民が国策として開始された。

- |       |     |       |     |
|-------|-----|-------|-----|
| ① X 正 | Y 正 | ② X 正 | Y 誤 |
| ③ X 誤 | Y 正 | ④ X 誤 | Y 誤 |

問 2 下線部①に関して述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

2

- ① 寺島宗則外務卿による改正交渉は、アメリカの反対にあつて、挫折した。
- ② 陸奥宗光外相による改正交渉は、大審院に外国人判事の任用を認めたことで世論の反発を受け、挫折した。
- ③ 大隈重信外相による改正交渉は、鹿鳴館を建てるなどの欧化政策を進めたことで世論の反発を受け、挫折した。
- ④ 青木周蔵外相による改正交渉は、大津事件によって外相が辞任したことで、挫折した。

## 日本史 A

- 問 3 下線部㉔に関連して、自由主義経済を唱えたことで有名な田口卯吉が内地雑居論争に際して著した次の史料に関して述べた下の文 a ~ d について、正しいものの組合せを、下の①~④のうちから一つ選べ。 3

### 史料

蓋し(注1)居留地の事の如き、開港の初にありては素より已むを得ざるの制度なるべしと雖ども、其事決して永遠に維持すべきものにはあらざるなり。何となれば此制度を行うの限りは、余は内外人民の葛藤決して断絶するの期なきを知ればなり。何を以て之を言う。試みに聞け。夫れ人類の相和し、相親しむものは其利害を同うするの一点にあり。決して人種の同一なるにあらざるなり。又決して貧富賢愚の差なきに因るにあらざるなり。(中略)居留地の区画、両民(注2)の利害を分つに因るのみ。(中略)居留地の制をして久しく存せしめば、余は内外両民の親和決して期すべからざるを見るなり。

(『鼎軒田口卯吉全集』第5巻)

(注1) 蓋し：思うに。

(注2) 両民：日本国民と外国人のこと。

- a 史料は、将来的には居留地を廃止し、日本人と外国人の住み分けを改めべきであると主張している。
- b 史料は、将来にわたって居留地を維持し、日本人と外国人の住み分けを継続すべきであると主張している。
- c 史料は、利害関係の一致によって人々の交流が円滑になるとしている。
- d 史料は、人種が同一であることによって人々の交流が円滑になるとしている。

- ① a・c      ② a・d      ③ b・c      ④ b・d

## B

- 則 夫：内地雑居で，㉑外国人が自由に国内で活動できるようになったんだね。
- 文 子：でも，それは欧米人に限った話で，たとえば清国人に対する扱いは別だったんだよ。
- 則 夫：そうなんだ。じゃあ，日本は台湾や朝鮮を植民地にしたけど，植民地の人たちはどう扱われたの？
- 文 子：そこはかなり複雑なんだけど，基本的には日本国籍を持つ㉒「臣民」として扱われることになるんだよ。日本の内地に定住している男子であれば，日本人と同様に参政権も与えられたんだ。でも，戸籍上は台湾人，朝鮮人と明示されるなど，あくまでも日本人と異なる存在として管理・統制されたんだよ。
- 則 夫：そうなのか。そういえば台湾人や朝鮮人に対して徴兵制が適用されたのは，第二次世界大戦末期だったと聞いたことがあるな。
- 文 子：そう。でも実際に軍人・軍属として戦争に動員された台湾人や朝鮮人は結構いて，㉓敗戦後に戦争犯罪人として連合国側に裁かれた人も少なくないんだよ。
- 則 夫：日本人の一員とみなされて，裁かれたんだね。
- 文 子：他方で戦後，日本に住む植民地出身者は，戦前に日本の内地で生まれ育ったその子どもも含めて，外国人とみなされるようになるんだよ。今では特別永住資格が認められているけど，外国人とみなされたことで，参政権をはじめとする権利を失ったんだね。
- 則 夫：外国人の範囲や取扱いは，本当にめまぐるしく変化してきたんだね。これからよりいっそう在日外国人が増えていくことが予測されるけど，どのような受け入れ態勢をつくっていけるのか，国の政策に翻弄された人々の歴史を踏まえて，考えていかないといけないね。

## 日本史 A

問 4 下線部㉑に関連して、お雇い外国人に関して述べた次の文 X・Y と、それに該当する人物名 a～d との組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 4

X 東京医学校の教師として来日し、近代日本の医学の発展に貢献した。

Y 鹿鳴館などを設計するとともに、辰野金吾らを育てた。

a モース                      b ベルツ                      c フェノロサ                      d コンドル

① X — a      Y — c                                      ② X — a      Y — d

③ X — b      Y — c                                      ④ X — b      Y — d

問 5 下線部㉒に関連して、大日本帝国憲法の「臣民」にかかわる規定に関して述べた次の文 X・Y について、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 5

X 大日本帝国憲法は、主権は「臣民」にある、と規定している。

Y 大日本帝国憲法は、「臣民」には法律の範囲内で言論の自由がある、と規定している。

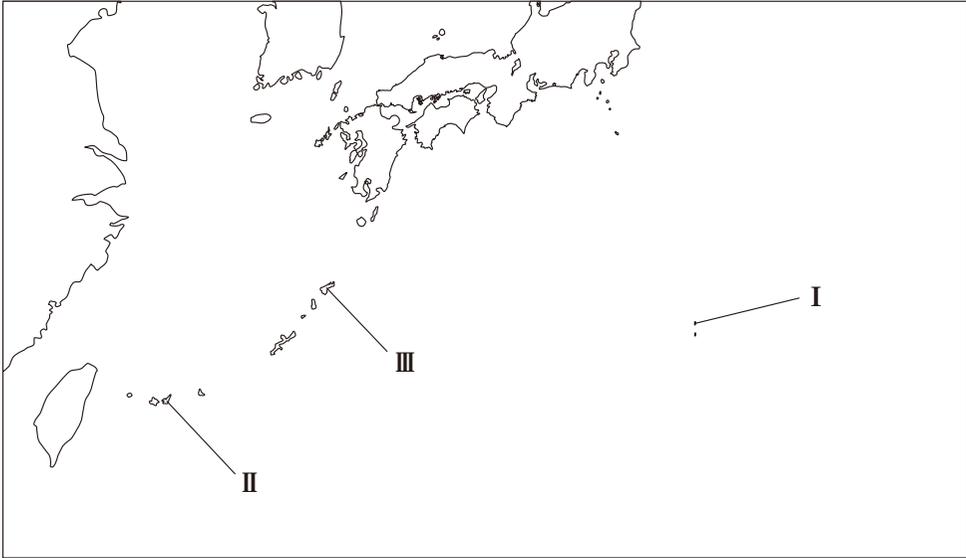
① X 正      Y 正                                      ② X 正      Y 誤

③ X 誤      Y 正                                      ④ X 誤      Y 誤

問 6 下線部①に関連して、日本の主権回復後もアメリカの施政権下におかれた地域の一部である次の図のⅠ～Ⅲの島について、日本に返還された年代が古いものから順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。

6

図



① I — II — III

② I — III — II

③ II — I — III

④ II — III — I

⑤ III — I — II

⑥ III — II — I

## 日本史 A

第 2 問 幕末から明治前期の民衆運動に関する次の文章を読み、下の問い(問 1～4)に答えよ。(配点 12)

江戸幕府がアメリカとの間で自由貿易を取り決める  を締結し、ついでイギリスなどと同様の条約を結び自由貿易が開始されると、物価の高騰や流通の混乱などが引き起こされた。㉑ 幕府はこれに対処する経済政策を打ち出したが、あまり効果はなく、各地で一揆や打ちこわしが急増した。

幕末から明治前期にかけて、こうした政治や社会の混乱が民衆の不安を大きくした。長引く世情の不安定さから世直しを求めたり、明治政府成立後も従来の社会の仕組みを大きく変える諸政策に反対するなど、㉒ 為政者への不信を示す民衆運動が頻発した。

また国会開設を唱える土佐の  など政治結社が各地で設立され、政府に対し民主的の改革を要求する自由民権運動が全国的に展開した。しかし、㉓ 民権運動が行きづまると急進派の民権家が加波山事件や大阪事件などを起こし、さらに同時期の不況によって困窮した民衆が、民権家と結びついて蜂起する場合もあった。

問 1 空欄   に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- |   |   |          |   |     |
|---|---|----------|---|-----|
| ① | ア | 日米和親条約   | イ | 立志社 |
| ② | ア | 日米和親条約   | イ | 交詢社 |
| ③ | ア | 日米修好通商条約 | イ | 立志社 |
| ④ | ア | 日米修好通商条約 | イ | 交詢社 |

問 2 下線部㉔について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 8

- ① 金貨の改鑄を行い、これによって物価が下落した。
- ② 株仲間が物価高騰の要因になっていると考え、これを解散させた。
- ③ 薪<sup>まき</sup>などの日用品の価格高騰を抑えるため、薪水給与令を出した。
- ④ 生糸などを、産地から横浜へ直接出荷することを禁じた。

問 3 下線部㉕に関連して、幕末から明治前期に発生した民衆運動や事件に関して述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 9

- Ⅰ 生糸の値下がりなどで打撃をうけた農民たちが、困民党とよばれる集団を結成し、高利貸・警察を襲撃した。
- Ⅱ 社会の先行きへの不安が募るなか、民衆が「ええじゃないか」と唱え乱舞した。
- Ⅲ 「血税」とは人の生き血を絞り取ることであるとの噂<sup>うわさ</sup>が広がり、「血取」役人が来たとの情報をきっかけに、民衆が役所などを襲撃した。

- ① Ⅰ — Ⅱ — Ⅲ                      ② Ⅰ — Ⅲ — Ⅱ                      ③ Ⅱ — Ⅰ — Ⅲ
- ④ Ⅱ — Ⅲ — Ⅰ                      ⑤ Ⅲ — Ⅰ — Ⅱ                      ⑥ Ⅲ — Ⅱ — Ⅰ

問 4 下線部㉖が発生していたのと同じ時期に起きた出来事に関して述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 10

- ① 太政官制が廃止され、新たに内閣制度が定められた。
- ② 洋画の分野で二科会が創立され、文部省美術展覧会(文展)に対抗した。
- ③ 三菱(三菱会社)と共同運輸会社が合併して、日本郵船会社が設立された。
- ④ 朝鮮で甲申事変(甲申政変)が発生し、清軍によって鎮圧された。

## 日本史 A

**第 3 問** 近代の都市について述べた次の文章 A・B を読み、下の問い(問 1～6)に答えよ。(配点 19)

A 近代日本の地方制度は、来日した  人顧問の助言を得ながら法制の整備が図られ、大日本帝国憲法発布の前後の時期に確立した。このときに定められた市町村に関する制度は北海道や沖縄にも順次適用され、何度か改正されながら、1947 年、日本国憲法とともに  が施行されるまで存続した。

戦前に定められた制度のもとでは、都市部・農村部を問わず中央政府の権限が強く、特に市に対する監督権は町村に比べてより強かった。たとえば当初、  
① 東京・大阪・京都 の 3 市に市長はおかれず、内務大臣の指揮下にある府知事が市長の職務を行った。

政府が都市を農村部以上に強く監督したのは、都市に自治を許すことで、政治批判がさかんになり、体制が危うくなるとの考えがあったからである。だが  
② 都市は、民衆の政治的な運動の拠点となり、たびたび起きた示威活動は、時には暴動へと発展した。

問 1 空欄   に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① ア ドイツ      イ 地方自治法
- ② ア ドイツ      イ 市制・町村制
- ③ ア フランス    イ 地方自治法
- ④ ア フランス    イ 市制・町村制

問 2 下線部②に関連して、これらの地域での出来事について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 12

- ① 日清戦争の勝利を祝って、大阪で日本万国博覧会が開催された。
- ② 造船疑獄事件の批判をうけて、東京でも革新首長が誕生した。
- ③ サンフランシスコ平和条約発効を機に、極東国際軍事裁判が東京で開かれた。
- ④ 京都で地球温暖化防止をめざす国際会議が開かれ、京都議定書が採択された。

問 3 下線部①に関連して、東京での政治的な運動に関して述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 13

- Ⅰ 閥族打破・憲政擁護を訴える多くの人々が帝国議会議事堂周辺に集まり、内閣退陣を要求した。
- Ⅱ 講和条約破棄を叫ぶ日比谷公園での集会から、暴動が発生した。
- Ⅲ 労働環境の改善などを求め、上野公園で第1回メーデーが開かれた。

- ① Ⅰ — Ⅱ — Ⅲ                      ② Ⅰ — Ⅲ — Ⅱ                      ③ Ⅱ — Ⅰ — Ⅲ
- ④ Ⅱ — Ⅲ — Ⅰ                      ⑤ Ⅲ — Ⅰ — Ⅱ                      ⑥ Ⅲ — Ⅱ — Ⅰ

## 日本史 A

B 日露戦争後から 1920 年代にかけて、農村から都市への人口流入が進んだ。国民の修学熱の高まりとともに、1918 年には **ウ** の制定や高等学校令の改正が行われた。都市部では、慶応義塾や東京専門学校など私立の専門学校が大学に昇格していき、学生数も増えた。官公庁や大企業で働く俸給生活者(サラリーマン)が大量に出現し、職住分離のライフスタイルが広まった。会社の事務員や電話交換手、タイピストなどとして職場で働く女性を指した **エ** という呼称も生まれた。このような社会変動を背景として、**㉔** 新しい思想や文化が花開いた。

都市部の人口増加は著しく進み、1922 年には東京・横浜・名古屋・京都・大阪・神戸の 6 市が、法令によって「六大都市」と定められた。翌年の関東大震災によって東京・横浜は壊滅したが、復興の過程で周辺の開発が進み、市域も拡大した。それにともない、**㉕** 都市とその郊外の景観も大きく変化していった。

問 4 空欄 **ウ** **エ** に入る語句の組合せとして正しいものを、次の**①**～**④**のうちから一つ選べ。 **14**

- ① ウ 学校教育法      エ 職業婦人
- ② ウ 学校教育法      エ 良妻賢母
- ③ ウ 大学令          エ 職業婦人
- ④ ウ 大学令          エ 良妻賢母

問 5 下線部㉔に関連して、この時期の学問・芸術に関して述べた次の文 X・Y と、それに該当する語句 a～d との組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 15

X 庶民の民間伝承や風習などの研究を通じて、民俗学を確立した。

Y 小山内薫らが中心になって組織し、新劇の拠点となった。

a 柳宗悦

b 柳田国男

c 宝塚少女歌劇

d 築地小劇場

① X — a      Y — c

② X — a      Y — d

③ X — b      Y — c

④ X — b      Y — d

問 6 下線部㉕に関連して、1920年代の都市化の状況に関して述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 16

① 東京で地下鉄が開通した。

② 伝統的な和式に徹し、洋式を排した文化住宅が建設された。

③ 鉄筋コンクリート造りの建物が増加した。

④ バス(乗合自動車)やタクシーが普及した。

## 日本史 A

**第 4 問** 近現代の風刺漫画について述べた次の文章 A～C を読み、下の問い(問 1～8)に答えよ。(史料は、一部省略したり、書き改めたりしたところもある。)  
(配点 24)

A 明治期の新聞・雑誌の中には、1875 年の  などで政府から弾圧を受けたものもあった。しかし、日清・日露の両戦争では、速報性の高い新聞号外や戦場の様子をセンセーショナルに報じる雑誌が人気を博し、戦争を支持する雰囲気をつくった。① 戦況を報道する従軍記者の中には作家も含まれていた。

他方で、政治や社会のあり方を、ユーモアを込めて批判する風刺漫画も、この時期にさかんになった。全ページ絵入り、カラー印刷を売りにした『東京パック』が人気を集め、北沢楽天きたざわらくてんらすぐれた漫画家が活躍した。しかし、多くの雑誌と同様に『東京パック』も戦争に肯定的な漫画を掲載している。戦争を批判する風刺漫画を大きく掲載したメディアは、『平民新聞』などごく少数であった。

② 日露戦争は国民に多大な負担を強いて行われ、戦時中の増税の多くは戦後も継続された。政府は国民の不満が社会主義思想の浸透につながることを恐れて社会主義への弾圧を強めた。1910 年、多数の社会主義者が検挙される  が起こったが、この事件で政府の対応を批判できた漫画はほとんどなかった。

問 1 空欄   に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① ア 治安警察法      イ 三・一五事件
- ② ア 治安警察法      イ 大逆事件
- ③ ア 新聞紙条例      イ 三・一五事件
- ④ ア 新聞紙条例      イ 大逆事件

問 2 下線部②に関連して、従軍記者と戦争に関して述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 18

- Ⅰ 『東京日日新聞』の岸田吟香<sup>きしだ ぎんこう</sup>が、台湾出兵に従軍した。  
 Ⅱ 博文館から派遣された田山花袋が、日露戦争に従軍した。  
 Ⅲ 『郵便報知新聞』の犬養毅が、西南戦争に従軍した。

- ① Ⅰ — Ⅱ — Ⅲ            ② Ⅰ — Ⅲ — Ⅱ            ③ Ⅱ — Ⅰ — Ⅲ  
 ④ Ⅱ — Ⅲ — Ⅰ            ⑤ Ⅲ — Ⅰ — Ⅱ            ⑥ Ⅲ — Ⅱ — Ⅰ

問 3 下線部①に関連して、日露戦争後の外交について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 19

- ① 日本は、韓国の外交権を奪ったほか、漢城に統監府をおいて、伊藤博文がその初代統監となった。  
 ② 日本を中心とする列国の軍隊によって、清国内の民衆反乱が鎮圧され、北京議定書が結ばれた。  
 ③ 日本は、軍艦を江華島付近に派遣して朝鮮を挑発し、これを機に開国させた。  
 ④ 日本は、韓国での権益を確保するために、ロシアと協調する外交路線ではなく、イギリスと同盟を結ぶ路線を選んだ。

## 日本史 A

B ㉔ 第一次世界大戦にともなう好景気を背景に、新聞・雑誌も発行部数を伸ばした。同時に、この時期に発行された総合雑誌は、自由主義・民本主義やマルクス主義に関する論説を掲載するなど、㉕ 大正デモクラシーの思潮をつくり出した。

風刺漫画でもこの思潮が顕著にみられた。この時期にマスメディアとして発達した大手新聞の漫画欄や、<sup>みやたけがいこつ</sup>宮武外骨が創刊した風刺雑誌『赤』には、労働者階級の視点に立った風刺画が多く掲載されている。<sup>おがわじへい おかもといつべい</sup>小川治平や岡本一平らは、㉖ 政治・社会を大きく変えようとする動きについてわかりやすく示した漫画を多く発表し、<sup>やなせまさむ</sup>柳瀬正夢は『無産者新聞』などにアメリカのプロレタリア漫画を模した力強い漫画を寄稿した。このように風刺漫画は、権力批判だけでなく、当時焦点となっていたさまざまな問題の要点をわかりやすく示す役割も果たした。

問 4 下線部㉔に関連して述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 

20
----

- ① 物価の急騰が賃金の上昇を上回り、労働者の生活を圧迫した。
- ② 債務国だった日本は、これを機に債権国になった。
- ③ 造船業など重化学工業が拡大する一方で、繊維産業は衰退した。
- ④ 輸入超過であったそれまでの貿易収支は、一転して輸出超過となった。

問 5 下線部㉑に関連して述べた次の文 X・Y と、それに該当する語句 a～d との組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 21

X 『東洋経済新報』の誌上で植民地放棄論(小日本主義)を展開した。

Y 民衆の政治意識の成長を促した総合雑誌として大きく発展した。

a 石橋湛山      b 北一輝      c 『白樺』      d 『中央公論』

- ① X — a      Y — c                      ② X — a      Y — d  
 ③ X — b      Y — c                      ④ X — b      Y — d

問 6 下線部㉒に関連して、大正期の政治・社会に関して述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 22

- ① 血のメーデー事件(メーデー事件)をきっかけに、破壊活動防止法が制定された。  
 ② 第1次若槻礼次郎内閣は、ジーメンス(シーメンス)事件の責任を問われて総辞職した。  
 ③ 労働組合が解散させられ、大日本産業報国会が結成された。  
 ④ 護憲三派の提携が成立し、第二次護憲運動を展開した。

## 日本史 A

- C 日中戦争が全面化すると、国内には人的・物的資源を幅広く戦争に動員する総力戦体制が構築された。徴兵による労働力不足を補うために、㉑多くの国民が軍需産業をはじめとする重要産業に動員された。

漫画家ももっていた読者への影響力も、総力戦体制のなかに組み込まれていった。1930年代初頭まで労働運動を支持していた加藤悦郎<sup>かとうえつろう</sup>は、1941年に建設漫画会を結成し、国策を喧伝<sup>けんでん</sup>する漫画を描くようになった。1943年5月には日本漫画奉公会が結成され、明治期から活躍してきた北沢楽天が会長に、大正期に活躍した岡本一平が顧問に就任した。

敗戦後、GHQの改革が進むなか、再び権力を批判する㉒風刺漫画がさかんに描かれた。紙不足のなかでも、さまざまな雑誌が発行され、GHQの検閲で認められた範囲内ではあるが、政治に対する風刺漫画が多く掲載された。他方、戦時下に漫画家が行った戦争協力については、のちにその責任が議論され、漫画家自身のなかにも自らの責任について語る者もいた。

- 問 7 下線部㉑に関連して述べた次の文 X・Y について、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 

23
----

X アジア太平洋戦争(太平洋戦争)期には、未婚の女性が女子挺身隊に組織された。

Y 国家総動員法にもとづく国民徴用令によって、重要産業への国民の動員が行われた。

- |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ① | X | 正 | Y | 正 | ② | X | 正 | Y | 誤 |
| ③ | X | 誤 | Y | 正 | ④ | X | 誤 | Y | 誤 |

問 8 下線部㉔に関連して、次の図は、1946年に発表された風刺漫画で、「田」の字の上であぐらをかいている人物にこん棒が振り下ろされている。この図に関して述べた下の文 a ~ d について、正しいものの組合せを、下の①~④のうちから一つ選べ。 24

図



(まつやまふみお画，湯本豪一『風刺漫画で日本近代史がわかる本』)

- a 図の人物は、地主を表している。
- b 図の人物は、小作人を表している。
- c この改革は、自作農の増加を目指した。
- d この改革は、自作農の減少を目指した。

- ① a・c      ② a・d      ③ b・c      ④ b・d

## 日本史 A

**第 5 問** 近現代日本のエネルギー資源の調達と利用について述べた次の文章 A～C を読み、下の問い(問 1～8)に答えよ。(配点 25)

A 明治期に①殖産興業政策が進められるなか、日本各地で炭鉱が開発されはじめた。石炭は、生産の増加につれて、国内の運輸用・産業用としてさかんに利用され、他方でアジアへも輸出された。炭鉱経営は大きな利益を得られる事業であり、三池炭鉱の払下げを受けた **ア** のように、炭鉱経営を基盤の一つに財閥を形成するものもあった。

工業化の進展にともなって日本のエネルギー需要は増加し続けた。日本は、植民地や満州で炭鉱開発を進めたが、航空機などの燃料となる石油資源の開発は遅れた。そのため、日本は石油を **イ** からの輸入に頼っていた。

日本は、日中戦争が長引くと、援蔣ルート of 切断と石油などの資源獲得を目的として、東南アジアへ軍隊を進めた。こうした動きに対して、**イ** は石油の対日輸出を全面的に禁止し、対日経済封鎖を強めた。一方で、②日本はソ連と日ソ中立条約を結び、北方の安定を確保した。こうして、石油を十分に確保できないまま、日本はアジア太平洋戦争(太平洋戦争)に突入した。

問 1 空欄 **ア** **イ** に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **25**

- ① ア 三井 イ アメリカ
- ② ア 三井 イ ドイツ
- ③ ア 三菱 イ アメリカ
- ④ ア 三菱 イ ドイツ

問 2 下線部②に関連して、明治期の経済政策について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 26

- ① 政府は、官営八幡製鉄所を民間に払い下げた。
- ② 政府は、フランスの技術や機械を導入した官営富岡製糸場を設立した。
- ③ 政府は、日清戦争の賠償金をもとに、日本銀行を設立した。
- ④ 政府が全額出資して、官営の日本鉄道会社を設立した。

問 3 下線部①に関連して、日本とソ連との政治・外交関係に関して述べた次の文 I～III について、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 27

- I 日本は、関東軍特種演習(関特演)と称して、約 70 万人の兵力を満州に集め、ソ連との戦争に備えた。
- II 幣原喜重郎外相のもとで日ソ基本条約が締結され、国交が樹立された。
- III ソ連のヤルタでアメリカ・イギリス・ソ連の首脳による会談が開かれ、ソ連の対日参戦が約束された。

- ① I — II — III                      ② I — III — II                      ③ II — I — III
- ④ II — III — I                      ⑤ III — I — II                      ⑥ III — II — I

## 日本史 A

B アジア太平洋戦争(太平洋戦争)後に縮小した日本の石炭生産は、㉓ 傾斜生産方式の実施などによって再び拡大した。朝鮮戦争期には、石炭産業は特需景気にわいた。

しかし、朝鮮戦争休戦後、石炭産業は一転して不況におちいったため、多数の炭鉱が閉山し、労働者が解雇された。失業者が多かった福岡県の筑豊地域では、募金活動などによって失業者を支援する「黒い羽根運動」が展開された。㉔ 鳩山一郎内閣は、石炭鉱業合理化臨時措置法を制定し、石炭産業の不況に対応した。

同じ頃には、高度経済成長期が始まっていた。それにともなって、肉体的・精神的負担の大きい炭鉱の仕事を辞め、都市部で工業やサービス業の仕事に転職する労働者も増加したため、石炭産業は不況に加えて労働力不足にも苦しんだ。一方で、炭鉱地域にも㉕ ラジオに加えてテレビが普及するなど、高度経済成長の影響は炭鉱労働者の生活にも及んでいったのである。

問 4 下線部㉓に関して述べた次の文 X・Y と、それに該当する語句 a～d との組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 

28
----

X この人物は、経済安定本部を発足させ、傾斜生産方式を開始した首相である。

Y この産業には、傾斜生産方式の実施によって、資金・資材が集中された。

a 吉田茂                      b 芦田均                      c 綿紡績業                      d 鉄鋼業

- ① X — a      Y — c                      ② X — a      Y — d  
③ X — b      Y — c                      ④ X — b      Y — d

問 5 下線部㉑について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 29

- ① 国鉄民営化などの行財政改革を実施した。
- ② 新たな財源として、消費税を導入した。
- ③ 日本国憲法の改正を唱えた。
- ④ 日韓基本条約を締結した。

問 6 下線部㉒に関連して、日本のラジオ・テレビについて述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 30

- ① ラジオ放送は、映画や演劇とともに明治期の大衆娯楽の一つであった。
- ② ポツダム宣言の受諾は、ラジオ放送を通じて天皇から国民に伝えられた。
- ③ 白黒テレビは、電気洗濯機、電気冷蔵庫とともに「三種の神器」とよばれた耐久消費財の一つである。
- ④ 高度経済成長期に、国産のテレビアニメーション(アニメ)の放送が開始された。

## 日本史 A

C 1950年代後半から、日本の主要エネルギーは石炭から石油へ転換していった。日本の原油埋蔵量は非常に少ないため、㉑日本は世界各地から原油を大量に輸入し、国内で精製することで、石油を確保した。

石油は、産業用のエネルギーや石油化学工業の原料としてだけでなく、自動車用燃料としても大量に消費された。自動車による人の移動や物資の流通を円滑にするための高速道路網の整備も進められ、1960年代末には東名高速道路が全面開通した。家庭にも、灯油やLPガス(液化石油ガス)などの石油製品が燃料として普及した。

このように、日本は、エネルギーを石油に依存しながら高度経済成長を続けた。しかし、㉒1973年の石油危機(石油ショック)は日本経済に大きな打撃を与え、エネルギー問題が経済成長を制約することを明確に示した。エネルギーの調達と利用の変化は、日本の政治や経済の動向と密接に関係していたのである。

問 7 下線部㉑に関連して、日本の原油の主な輸入先と輸入量を示した次の表に関して述べた次ページの文 a ~ d について、正しいものの組合せを、次ページの①~④のうちから一つ選べ。 31

日本の原油の主な輸入先と輸入量

(単位：万キロリットル)

	1955年	1965年	1975年
中東(A)	643	7,380	20,560
インドネシア	110	613	3,003
中華人民共和国	—	—	921
ソ 連	—	257	8
合計(B)	855	8,360	26,281
A/B(%)	75.2	88.3	78.2

(三和良一・原朗編『近現代日本経済史要覧 補訂版』により作成)

(注) 合計には、その他の輸入先を含む。

(注) 「—」は輸入がないことを示す。

- a 1955年の原油の輸入先には、アジア太平洋戦争(太平洋戦争)中に日本軍が占領していた地域が含まれている。
- b 1965年の原油の輸入先は、冷戦下の西側諸国に限られている。
- c 1955年と1965年を比べると、中東からの原油輸入量は増加しており、輸入量合計に占める割合も大きくなっている。
- d 1965年と1975年を比べると、中東からの原油輸入量は増加しており、輸入量合計に占める割合も大きくなっている。

- ① a・c      ② a・d      ③ b・c      ④ b・d

問 8 下線部㉔に関して述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 32

- ① 石油危機(石油ショック)にもかかわらず、日本の実質経済成長率は上昇し続けた。
- ② 石油危機(石油ショック)後、ニクソン＝ショックが起こった。
- ③ 石油危機(石油ショック)のなかで、人々がトイレトペーパーの買いだめに殺到するという騒ぎが起こった。
- ④ 石油危機(石油ショック)のきっかけは、アメリカを中心とした多国籍軍とイラク軍が戦った湾岸戦争だった。

問題と解答は、独立行政法人 大学入試センターホームページより転載しています。

ただし、著作権上の都合により、一部の問題・画像を省略しています。